



布施だより

《 第49回 銀河祭 ～すてきな時間をありがとう!～ 》

第49回銀河祭、多くの皆様に生徒の活躍を見守っていただき本当にありがとうございました。心に残る銀河祭を、生徒会担当顧問の齋藤貴弘先生がリポートします。

9月26日、27日に今年度で49回目となる銀河祭が開催されました。1日目は音楽会が行われ、各学級、学年の良さが詰まった歌声が体育館に響きました。2日目は洋裁部、合唱部、吹奏楽による華やかなステージ発表。生徒会による委員会一企画では全校で盛り上がり、西中生のパワーが盛大な熱気をつくりあげました。

今年度のテーマは、「658のSTORIES～光り輝く永遠の思い出を～」。閉祭式では全校ダンスで一体となり、今までの振り返り映像が流され、全校の輝きを共有して、その幕を閉じました。地域の多くの皆様に足を運んでいただき感謝しております。来年度の第50回に向け、更に活気に満ちた生徒会活動を展開していきたいと思ひます。



開祭宣言

【 生徒会長のことば～閉祭にあたって～ 】

多くのみなさんの努力と協力のおかげで、第49回銀河祭も無事終了することができました。ありがとうございました。

今年のスローガンは「658のSTORIES～光り輝く永遠の思い出を～」でした。忘れられない永遠の思い出とストーリーをつくることができました。この2日間のために、各クラス、部活、生徒会、それぞれが力を合わせ、一生懸命準備をしてきました。そして本番では今までの練習の成果を発揮し、一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たすことができたのではないのでしょうか。

今年の銀河祭で感じることができた仲間との絆は、これからもきっと僕たちの支えになると思ひます。学んだことをいかして、これからも仲間と共に色々なことに挑戦し、お互い高めあっていきたいと思ひます。

第49回銀河祭のために力を注いでくれた先生方、全校のみなさん、地域の方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



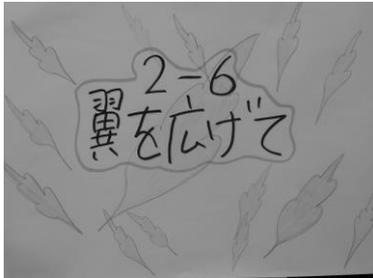
3学年合唱

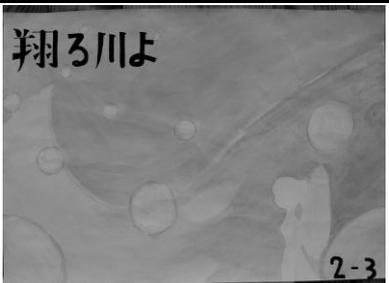
2日間を通じてとても心愉快だったのは、生徒諸君が相手意識をきちんとわきまえたパフォーマンスを心がけていたから。聴いてくれているオーディエンスをいかに楽しませようかという気遣いとそれを受け止めた会場全体が、笑顔といたずら感一杯に包み込まれたのでしょね。

次ページより、音楽会に寄せた各クラスのメッセージとイメージ画をどうぞ!

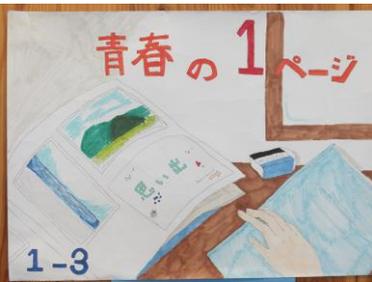


3年4組〈fight〉	3年3組〈青い鳥〉	3年1組〈虹〉
		
<p>指揮者と合わせるのに、苦労したり声が出ていなくて大変だったけど、毎日欠かさず続けた練習の成果を全て出して歌います。</p>	<p>切なさや幸せの間をゆく複雑な心境の移り変わりを、青い鳥が羽ばたくように表現豊かに仕上げたいです。</p>	<p>音楽会までにみんなで創り上げたとても心に響く合唱です。「出会い」があり、「別れ」があるという意味が込められています。</p>

2年6組〈翼を広げて〉	2年5組〈My Own Road〉	2年4組〈手紙〉
		
<p>道徳で、今のクラス合唱を自己採点したら平均 30 点でした。藤田先生に届くよう 100 点を目指して歌います。</p>	<p>テンポがいいので自分たちが楽しく歌うことはもちろん、聴いている方に勇気や元気を与えられるような合唱にしたいです。</p>	<p>15 歳の不安定な心を歌った曲なので、中 2 の自分たちの姿と重ねて「未来の自分」へのメッセージを歌いたいと思います。</p>

2年3組〈翔る川よ〉	2年2組〈旅立ちの時〉	2年1組〈道〉
		
<p>言葉を大切に丁寧に意識しました。また人任せにしないこと、伴奏をたくさん練習してくれた仲間のことを思いながら練習してきました。</p>	<p>困難を乗り越えた先には必ずいいことが待っているということ、夢は叶えるものだ、と思わせてくれる歌詞がたくさん書かれています。</p>	<p>別れの哀しみと未来への希望が表現されています。この歌のように道がそれぞれ分かれていくだろうけど、その時その時を大切にしたいです。</p>

1年7組〈未来へのステップ〉	1年6組〈HEIWAの鐘〉	1年5組〈マイ・バラード〉
		
<p>みんながそれぞれの未来へのステップを一步、一步踏み出してほしいと思います。</p>	<p>この歌は平和の曲で、戦争のつらさなどが歌われています。二度とこのようなことがないように精一杯心を込めて歌います。</p>	<p>全校の前で、クラスが歌うのはこれが最初で最後。みんなで良い思い出にするために大きな声を届けたい。届け、愛のメッセージ！！</p>

1年4組〈My Friends〉	1年3組〈青春の1ページ〉	1年1組〈明日の空へ〉
		
<p>クラス全員で気持ちを一つにして、一つの合唱を創り上げ、自分たちの友達のことを考えて一人ひとりが大きな声で歌いたいです。</p>	<p>ひとりひとりがきちんと大きな声を出し、体育館全体にハーモニーを広めるように、歌いたいです。</p>	<p>音が取れなかったのですが、何とか歌えるようになりました。夢を持って明日の空へ向かっていく思いを込めて歌っています。</p>

1年2組〈遙かな季節〉	3年6組〈あなたへ〉	3年5組〈ひとつの朝〉
		
<p>曲名通り、遙かな季節をイメージしたさわやかな曲です。3部合唱で曲の途中にソロが入ります。ぜひ注目して聴いてほしいです。</p>	<p>出だしやサビの言葉をはっきりさせることを意識して、全員がしっかり声を出して、3年のトップバッターらしい合唱にしたいです。</p>	<p>パートのかけあいがある素敵な曲です。クラス全員がひとつになって中学校生活最後の合唱がんばって創り上げたいです。</p>

3年7組〈瑠璃色の地球〉	3年2組〈あなたへ〉	全校〈Cosmos 大地讃頌〉
		
<p>「瑠璃色の地球」を作詞した松本さん、作曲した平井さんの曲に込めた思いを私たちなりに一生懸命伝えられるように頑張ります。</p>	<p>この歌は卒業ソングです。クラス全員で合唱練習を頑張ってきました。最後のクラス合唱にピッタリの曲です。</p>	

3年〈信じる〉	1年〈Let's Search for Tomorrow〉	2年〈大地の歌〉
		
<p>「信じる」ことに対する思いが印象的な曲です。思いが伝わるように意識してきました。皆さんは「信じる」とはどういうことだと思いますか？</p>	<p>この曲名は「明日を探そう」という意味で明るい曲です。サビのハーモニーがとても良いのでぜひ聴いてください。</p>	<p>3 広く偉大な大地に感謝する歌詞や軽快なリズムが特徴的で、力強い感じがする歌です。元気に歌いたいです。</p>

「心の中に温かいものがいっぱい満たされたひと時でした。」と、学校長は音楽会全体をまとめてあげて講評しました。

温かい感慨に包まれて、良き合唱に出会って私たちは言葉を失いました。音楽会を終えて、会場を後にする生徒諸君からは心地よい疲労感のみが伝わってきて、いつもは気になるざわめきが一切聞こえてきませんでした。その瞬間、658人ひとりひとりの物語が学級の、学年の、そして学校全体の物語として結実したその時が、いつまでもずっと続いていてくれたらなあ私たちの多くが願っていました。3学年合唱のコメントにあった「信じるとはどういうことだと思いますか？」の答えが合唱『信じる』にありました。それは・・・【信じることは生きる源】。

3学年合唱を見上げる聴き入る1・2年生の憧れの眼差しの何と深かったことよ！！

みんな、素晴らしい2日間をありがとうございました。

《美術部諸君の力作ステージ》

